

# 多様化に向かう世界貿易

鈴木雄介

経済・産業分析室研究員

2006年の世界貿易は、米ドル建てで15%前後の伸びとなったようだ。2001年の6兆5,000億ドルから、2005年に10兆ドルを超え、2006年には12兆ドルに達したものと推定される。1999年12月に喧騒につつまれたシアトルでWTO（世界貿易機関）の「新ラウンド」立ち上げが失敗に終わり、2001年9月には米同時多発テロ事件が勃発したが、貿易動向を見るかぎりグローバル化の潮流は変化なく続いているようにうかがわれる。

1990年代後半から打って変わり、ここ数年は価格の上昇が特徴となっている。IMF（国際通貨基金）の集計によれば、アジア通貨危機やITバブル崩壊を挟みつつ2002年2月まで6年7カ月間で世界の輸出価格はマイナス25.5%の下落を記録した。その後、上昇に転じると、3年1カ月後の2005年2月にほぼ10年ぶりに既往最高水準を回復、2006年9月になるとさらに5%ほど高い水準まで上伸している。

ここでは、WTOの資料を使い、欧州、日本、北米、中南米、アジア（日本を除く）、そして、CIS（独立国家共同体）、中東（Middle East）、アフリカ（Africa）を合わせたCIMEAと、世界を大きく6つの地域に分けて世界貿易の動向を見てみたい。2005年の世界の総輸出額は10兆1,591億ドルとなっているが、これらの地域をまたぐような貿易（域外輸出額）は4兆9,689億ドルとほぼ半分となっている。地域別に見ると、注目すべきことは、CIMEAの域外輸出額が北米や日本を上回り9,730億ドルに達していることだ。2000年から2005年の5年間で4,931億ドルの増加とほぼ倍増、このうち、資源価格の高騰を追い風とするエネルギー・鉱物資源（Fuels and mining products）の増加額が3,692億ドルと実に7割超を占めている。

言い方を変えれば、製造業や機械類の輸出に着目するかぎり、アジア、欧州、日本、あるいは、北米が担い手の中心であることに変わりはない。製造業や機械類の輸出でCIMEAが占める割合は、それぞれ、5.7%と2.1%にすぎない。また、よく指摘されることだが、欧州や北米では、域内貿易の割合が高いという特徴がある。例えば、北米の場合、輸出総額は1兆4,775億ドルに達するが、NAFTA（北米自由貿易協定）を介した域内貿易の割合が55.8%を占め、域外に向けた輸出額は6,533億ドルにすぎない。一方で、CIMEAの域内貿易比率は17.3%にすぎず、大半が域外に向けた輸出となっている。

次に、商品の買い手にあたる輸入の動向を見ると、やや様相が違っている。印象的なことの一つは、製造業や機械類の

域外輸入において、CIMEAの増加幅が大きく伸びていることだ。特に、機械類では、2000年から2005年の5年間の増加額が1,576億ドルと、北米をも上回る増加となっている。急増した域外輸出の伸びと比べると5割強の水準にすぎないが、見方を変えれば、5年間で日本（2005年の機械類の域外輸入額は1,275億ドル）に匹敵する規模の市場が生まれたことになる。そして、この6割弱は欧州からの輸出が占めており、2006年にドイツを中心とする欧州諸国が予想を超えた景気回復を遂げた一因と考えられる。

品目別に見た場合、容易に想像できることだが、エネルギー・鉱物資源の伸びが著しい。世界貿易の7割前後を製造業の産品が占めているとはいえ、エネルギー・鉱物資源の域外輸出額は合計で1兆393億ドルと総額の2割を占め、情報通信機器や輸送機械を大きく上回るようになっている。

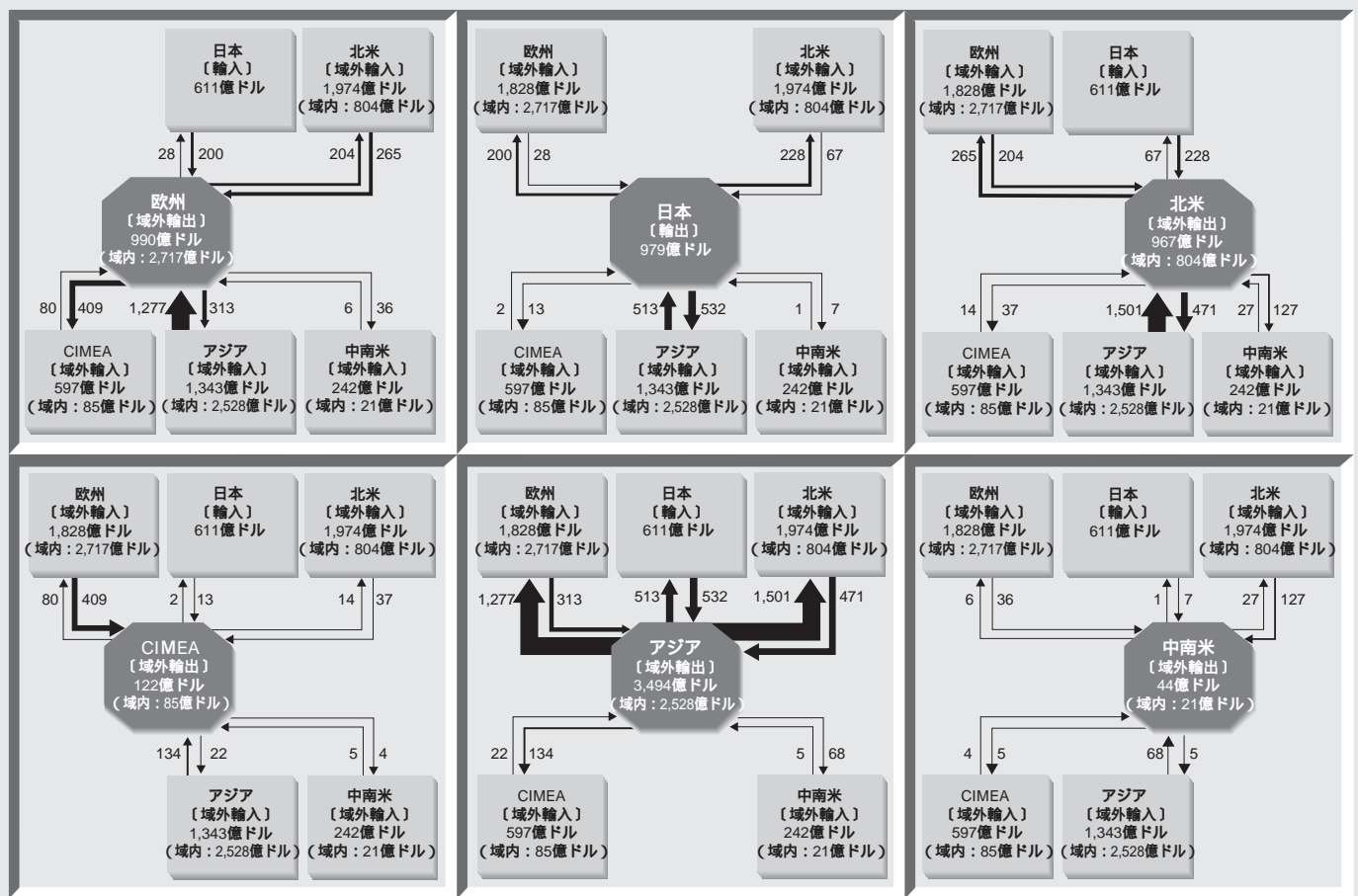
1990年代は情報通信機器が世界貿易の牽引役だった。例えば、1995年から2000年の5年間で振り返ると、情報通信機器の輸出の伸びが実に世界貿易の増加額のうち3割程度を占めていた。2000年代を迎えてからも、その増加幅はおおむね1年当たり500億ドル超を維持しているが、エネルギー・鉱物資源をはじめ、化学製品、輸送機械、さらに農林水産物の増加幅が情報通信機器を上回るようになっている。また、情報通信機器の貿易では、アジアからの輸出が一人勝ちの様相を呈しているが、例えば、輸送機械の貿易では、欧州、日本、北米、さらに、アジアといった地域に輸出元が分散している。品目が広がるにつれ地域別に見た貿易の流れも多様化しつつあるといえよう。

図表1：地域別に見た域外輸出額と輸入額  
(2005年、単位：億ドル)

	域外輸出		域外輸入	
		5年間増加額		5年間増加額
アジア	13,083	5,774	10,952	4,380
欧州	11,706	4,654	11,969	4,629
CIMEA	9,730	4,931	4,808	2,617
北米	6,533	1,116	12,691	4,070
日本	5,949	1,157	4,721	1,438
中南米	2,687	1,240	2,147	607

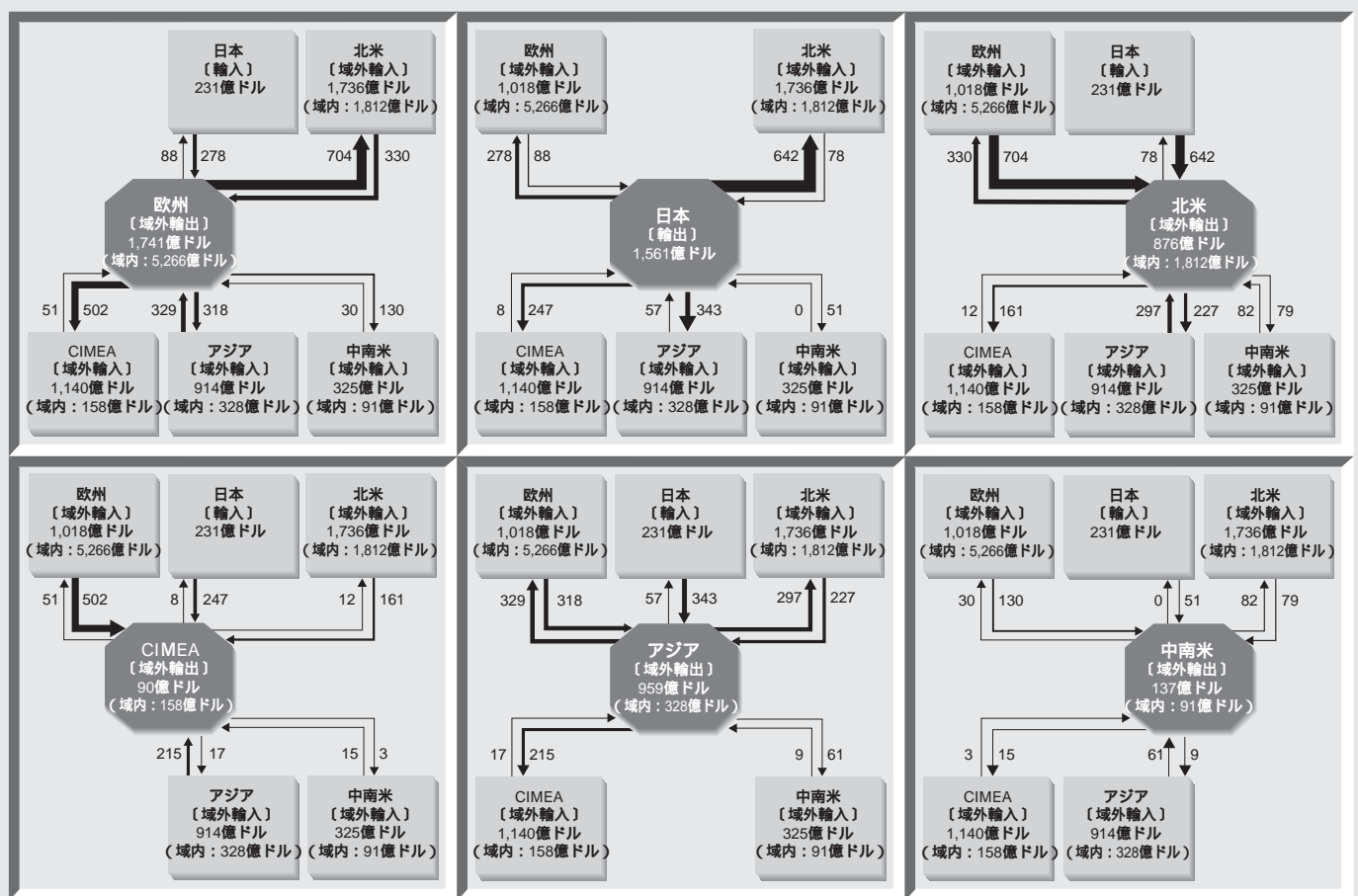
注：アジアは日本を除く。CIMEAはCIS、中東、アフリカ。地域分類はWTOによる。「5年間増加額」は2000年から2005年の増加額。  
出所：WTO

図表 2：情報通信機器の貿易フロー（2005年）



注：アジアは日本を除く。CIMEAはCIS、中東、アフリカ。 出所：WTO

図表 3：輸送機械の貿易フロー（2005年）



注：アジアは日本を除く。CIMEAはCIS、中東、アフリカ。 出所：WTO